

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向け取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	4	・介護計画を作成するときに、職員中心の話し合いになっている。	・介護計画を作成するときは、利用者の思いや意向、暮らし方が反映される内容になるようにする。	・常に利用者とのコミュニケーションを図り、思いや意向を確認していく。 ・家族にも面会時等に思いや意向を聞いていく。 ・カンファレンス開催時に、家族や利用者が参加してもらえるよう日程調整を行っていく。	12 か月	
2	18	・日常的に利用者の口腔内の状況を確認し、健康が保持できるよう支援するまでは至っていない。	・利用者の口腔内の状況を毎日確認していく。 ・口腔体操等をおこない、健康状態が保てるようにしていく。	・内部研修会等を開催し、口腔ケアの正しい方法を学んで、実践に繋げていく。 ・食事前に口腔体操を行っていく。	12 か月	
3	40	・運営推進会議に参加していない家族等に理解されていない。	・運営推進会議に参加されていない、家族全員に理解されるようにしていく。	・家族会開催時や広報誌で、運営推進会議の内容を報告し、理解を得られるようにしていく。 ・新規に入所された利用者、家族に運営推進会議について理解してもらえるよう説明していく。	12 か月	
4	50	・災害の備えに不安を感じている家族がいる。	・緊急災害時の利用者の安全確保について、徹底した支援に取り組み、家族に安心してもらえるようにしていく。	・様々な災害に対応できるようマニュアルを作成していく。 ・地域住民や家族を交えた合同の訓練を行い、協力・支援体制を確保していく。	12 か月	
5	51	・地域における相談支援窓口としては物足りない。 ・関係機関との共同のイベント開催に至っていない。	・地域に周知してもらう。 ・ボランティアの訪問や交流会を通して、地域の方が集える場所として活用してもらう。 ・関係機関と連携して、共同のイベント等にも積極的に取り組んでいく。	地域に理解してもらえるよう、運営推進会議等を通して助言や支援を受けていく。 ・地域の方が気楽に集えるよう、交流館を活用していく。 ・関係機関との連携を強固にし、地域活動に積極的に参加していく。	12 か月	

注1) 項目番号の欄については、自己評価項目のNo.及び小項目のアルファベットを記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

### サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取 り 組 ん だ 内 容	
実施段階		( ↓ 該当するものすべてに○印 )	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他( )
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③評価機関へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他( )
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を評価機関へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他( )